

Investor Day資料

橋梁事業

IHI

2026年6月2日

株式会社 **IHI**

代表取締役 副社長執行役員

小林 淳

● 橋梁事業とは

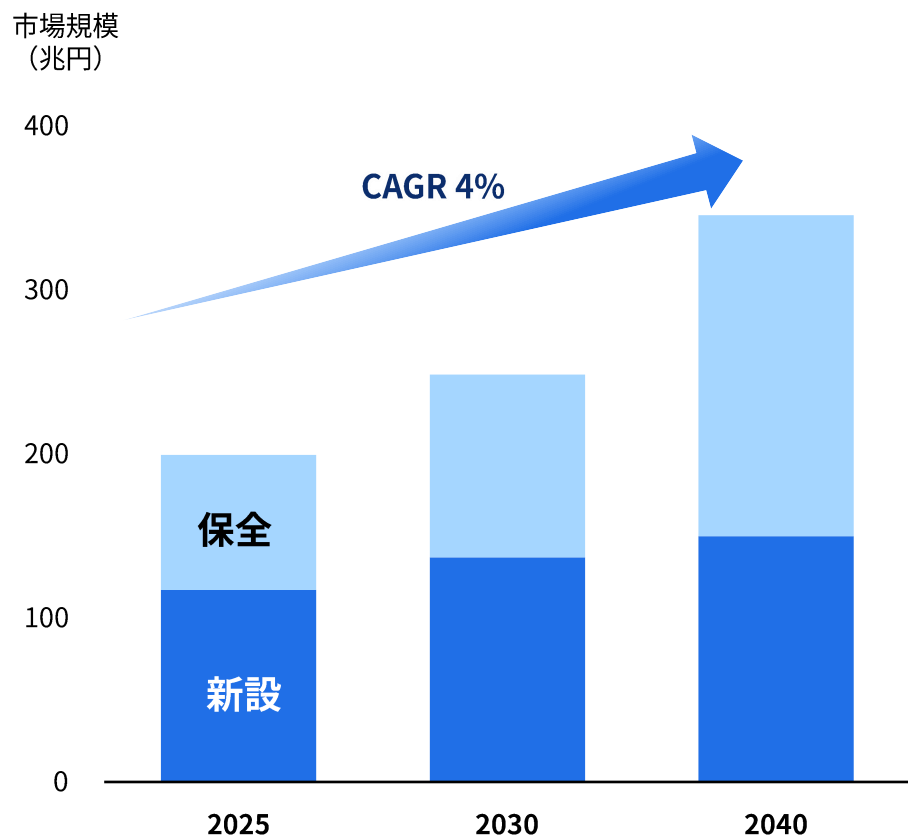
- ✓ 地域の分断を解消し、人々の豊かな暮らしを根幹から支える社会インフラ
- ✓ 国・地域の安全・安心に直結、造り手に求められる信頼
- ✓ 確かなファイナンスのもと、長期にわたり需要が安定

● 当社の目指す姿

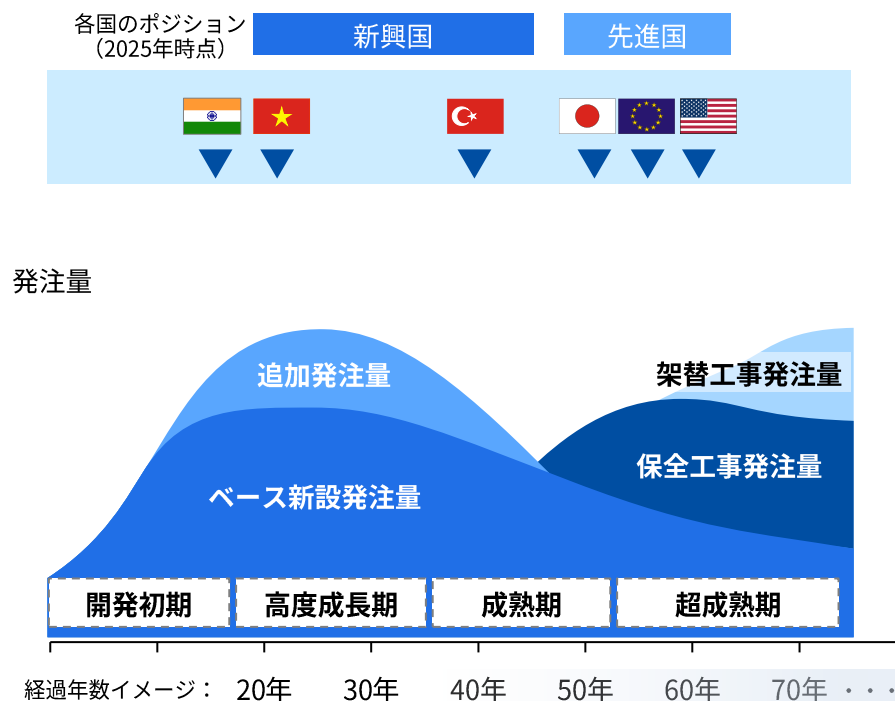
- ✓ 140年以上にわたり培ってきた信頼と実績、コア技術を強みとして付加価値の高い案件に集中することで、収益性の向上を図る
- ✓ 強みを起点に、次の成長ステージとして北米・欧州を重点地域とし、インフラ老朽化の社会課題を解決し、グローバルトッププレイヤーを目指す

世界の橋梁インフラ市場は合計で約200兆円/年で、大半が公共事業で安定的な市場
北米・欧州・日本などの先進国では新設の減少・保全の増加により市場構造が変化

橋梁インフラ市場全体の見通し



先進国・新興国での新設／保全の発注量



- 新設の減少に伴い、地場企業が衰退、発注者も設計ノウハウが低下
- 保全の増加に伴い、設計施工一体での発注が拡大

優位性

01

世界に選ばれる実績

優位性

02

高難度工事を完遂できる総合エンジニアリング力

収益拡大
に向けて

海外保全市場拡大を見据えた良質なパートナーリングの構築

世界各地で橋梁という社会インフラに挑みつづけたことで得られた信頼と実績

日本

保全

2週間という**超短納期**で全長300mの橋の架け替えを実現

IABSE AWARDS Rehabilitation部門 2025 最優秀作品 受賞



高速大師橋

写真提供：首都高速道路（株）

ルーマニア

新設

伊・大手建設会社と**国内最長**の吊橋を設計と建設を一貫して担当

土木学会 田中賞 2023、日本鋼構造協会 業績賞 2024 受賞



ブライラ橋

トルコ

新設

保全

土・大手建設会社とボスポラス橋の建設・**耐震補強**（アップグレード）をはじめ、

ライフサイクルで貢献 国土交通省 第4回 JAPANコンストラクション国際賞 受賞



第2ボスポラス橋

アメリカ

保全

米・大手建設会社とヒューイ・P・ロング橋を拡幅するアップグレード工事で

世界初工法による**工程短縮**と水上交通規制の**大幅削減** Alliant Build America Grand Award 2012

IHIが選ばれる理由：各国のローカル市場でも求められる総合エンジニアリング力の蓄積

ライフサイクル全体でのコア技術を組み合わせた総合エンジニアリング力によって
工事ごとにパートナー企業と協働、強みを柔軟に補完し全体最適を実現

IHIのコア技術

パートナー企業の強み

設計

- ✓ 耐震・耐風、長寿命化
- ✓ 鋼とコンクリートのハイブリッド

建設

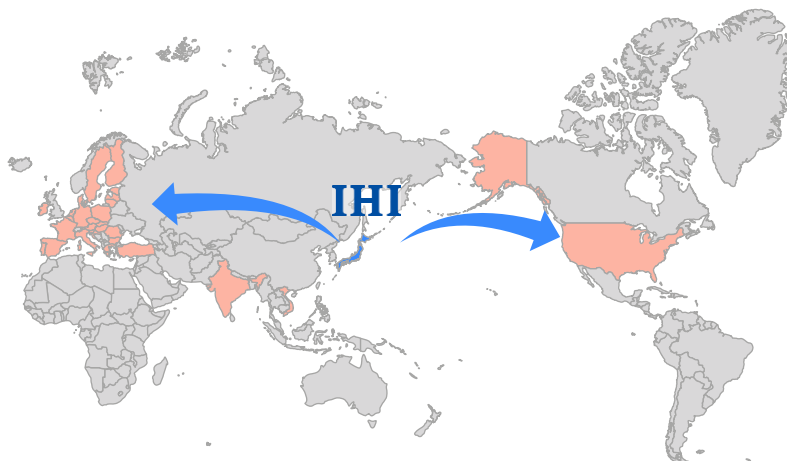
- ✓ 高難度工事
- ✓ 直庸施工能力

プロジェクトマネジメント

- ✓ 契約管理
- ✓ 案件形成・提案力

- ✓ 一般工事
- ✓ リソース動員
- ✓ 地域特性・規制・基準
- ✓ 顧客対応

重点地域での高難度工事で
全体最適を実現



新設・保全相互の取組みを通じ高難度保全工事を拡大し、収益性とROICを向上
それを起点に良質なパートナーと持続的に協業できる地域で、売上収益を拡大

新設・保全の技術シナジーで高難度保全を拡大



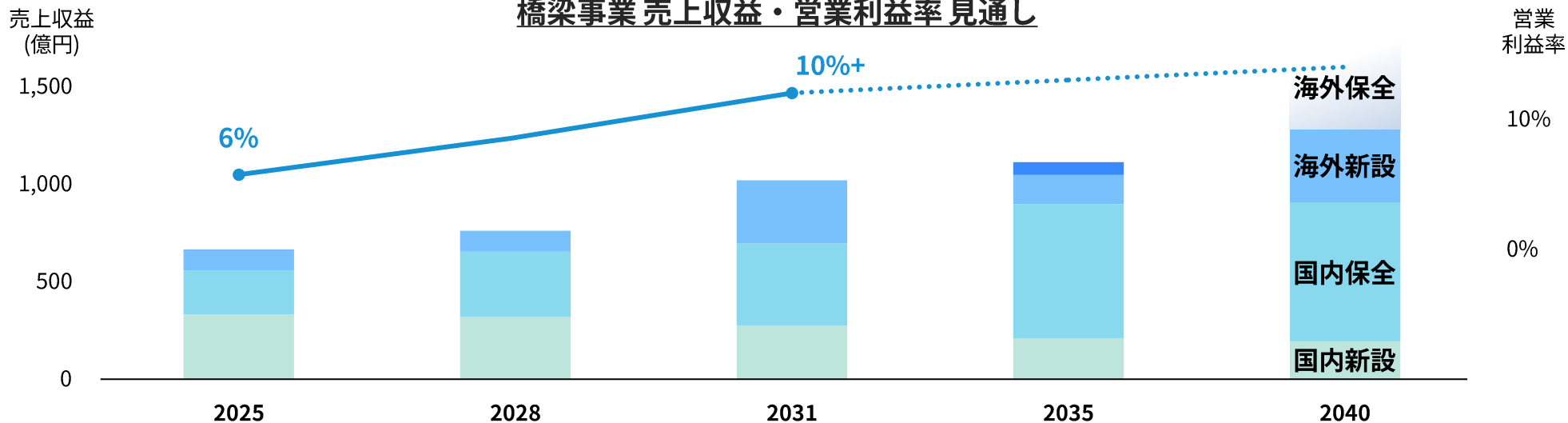
写真提供：首都高速道路（株）

売上収益の拡大

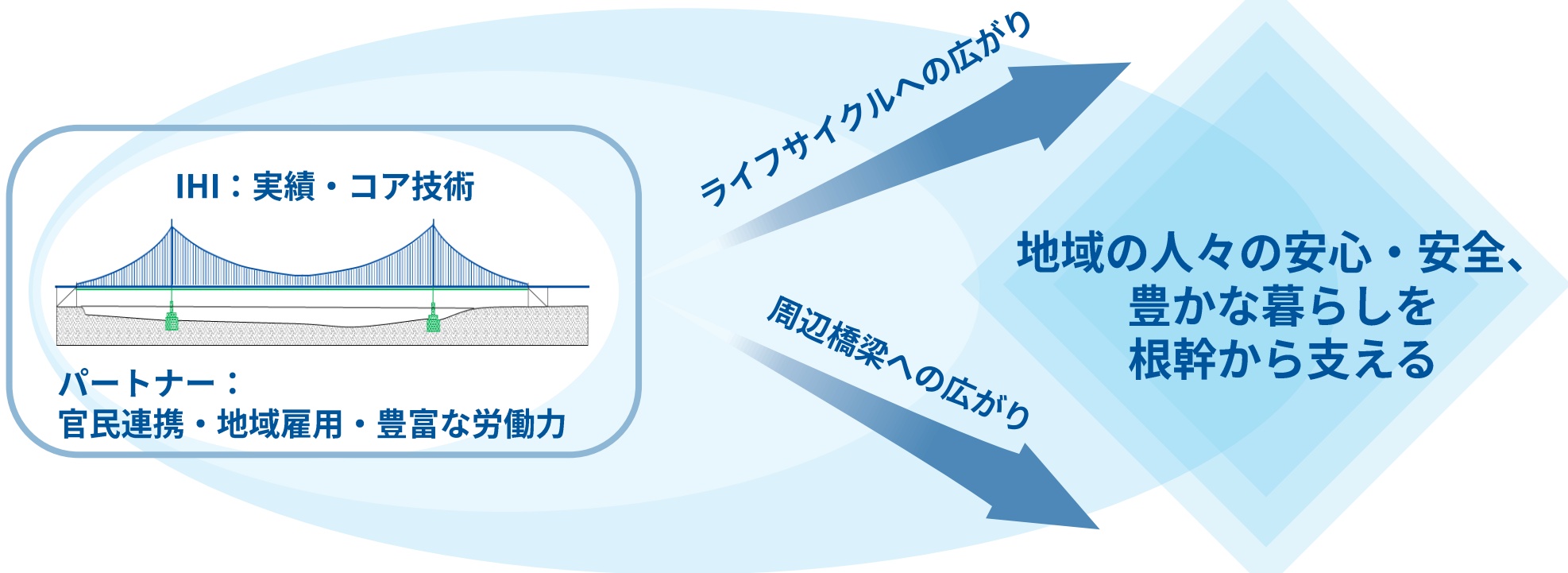
地域・パートナー戦略の展開

収益性・ROICの向上

橋梁事業売上収益・営業利益率見通し



北米・欧州を中心に、強みを組み合わせることのできる地域の有力企業との
パートナーリング 一点から線、線から面へ



従来のパートナーリング

- ✓ 短期的な協業
- ✓ 新設または保全での連携
- ✓ 特定橋梁での対応

⇒ 「点」



目指す姿

- ✓ 持続的・長期的な協業
- ✓ 新設+保全で連携
- ✓ 周辺橋梁にも対象拡大

⇒ 「点 → 線 → 面」

IHI

Realize your dreams

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際に業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。